

平成 23 年 5 月 25 日

内閣府公共サービス改革推進室

民間競争入札実施事業  
経済産業研究所データベース業務の評価（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

## I 事業の概要等

## 1 実施の経緯及び事業の概要

独立行政法人経済産業研究所（以下「RIETI」という。）が実施する「経済産業研究所データベース業務」については、公共サービス改革基本方針（平成 21 年 7 月 10 日改定を閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。これを受けて RIETI は官民競争入札等監理委員会の議を経て定めた「経済産業研究所データベース業務民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、民間競争入札を実施し、受託事業者を決定した。その概要は以下のとおりである。

事 項	内 容
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本産業生産性データベース（Japan Industrial Productivity Database : JIP）基礎資料の収集・入力業務（平成 21 年度～23 年度公表資料の 3 回年度分）の実施</li> <li>・RIETI Trade Industry Database (RIETI-TID) の更新（平成 21 年度及び 22 年度公表資料の 2 回年度分）・公開業務（平成 22 年 3 月 1 日～平成 24 年 2 月 28 日）の実施</li> </ul>
契約期間	平成 21 年 12 月 4 日から平成 24 年 2 月 28 日までの 2 年 3 か月間
受託事業者	株式会社 価値総合研究所
契約金額	29,460,000 円（税抜）
実施にあたり確保されるべきサービスの質	<ul style="list-style-type: none"> <li>① JIP 基礎資料及び RIETI-TID の基礎となる統計データを誤りなく入手すること。</li> <li>② JIP 基礎資料を指定の方法に従って適切に入力すること。</li> <li>③ RIETI-TID の基礎となる統計データを指定の方法に従って加工及びデータベース化し、それを公開するとともに、データベースのサーバーを適切に管理すること。</li> <li>④ 納品後契約期間内に誤りが確認された場合、民間事業者は全てのデータを再検証した上で誤りを修正し、再度納品すること。</li> </ul>

⑤ 当研究所が定めたスケジュールを厳守すること。

## 2 受託事業者決定の経緯

入札参加者は3者であり、その3者は入札参加資格を満たしていた。平成21年11月30日に開札を実施し、総合評価（加算方式）により、上記受託事業者が落札者となった。

## II 評価

### 1 評価方法について

RIETI から提出された平成21年12月～平成23年3月までの実施状況についての報告(別添)に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、事業の評価を行うものとする。

### 2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

#### (1) 対象公共サービスの質の確保

##### ア 実施結果

評価期間中（平成21年12月～平成23年3月、以下同じ。）に実施された平成21年度分及び平成22年度分のJIP基礎資料の収集・入力、RIETI-TIDの更新・公開業務の実施結果は、次表のとおり。

確保すべき対象公共サービスの質	平成21年度分	平成22年度分
① JIP 基礎資料及びRIETI-TIDの基礎となる統計データを誤りなく入手すること。	統計データ入手に過誤なし	統計データ入手に過誤なし
② JIP 基礎資料を指定の方法に従って適切に入力すること。 ④ 納品後契約期間内に誤りが確認された場合、民間事業者は全てのデータを再検証した上で誤りを修正し、再度納品すること。	<u>平成22年3月1日に納品された統計データ（全4回中の3回目）の一部に</u> 入力過誤があったため、 <u>全データの再検証、修正後の再納品を依頼し再度納品された</u>	統計データ入力に過誤なし
③ RIETI-TIDの基礎となる統計データを指定の方法に従って加工及びデータベース化し、それを公開するとともに、データベースのサーバーを適切に管理すること。	加工されたデータ、作成されたデータベース・検索ツールに過誤はなく、受託事業者が所有するデータベースサーバにおいて一般公開され、適正に管理・運用されている	加工されたデータ、作成されたデータベース・検索ツールに過誤はなく、受託事業者が所有するデータベースサーバにおいて一般公開され、適正に管理・運用されている
⑤ 当研究所が定めたスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり納品（JIP平成22年3月1日納品分は修正後速やかに再納品）	スケジュールどおり納品

## イ 評価

平成 21 年度分の JIP 基礎資料のデータ入力において、一部入力過誤が発生したが、RIETI の再納品依頼に適切に対応するとともに、RIETI の依頼による入力ミスの原因究明（作業者のデータ入力不慣れ）及び今後の対策の策定（①複数者による確認、②入力用ソフトの機能によるサムチェック等の実施）に適切に対応し、以後、入力ミスは生じていない。なお、次期事業においては入力ミス対策についても提案させ評価することが望ましい。

その他の確保されるべき対象公共サービスの質はいずれも達成された。

したがって、平成 23 年度分についても、確保されるべき対象公共サービスの質は達成されるものと期待できる。

## (2) 実施経費

1 回年度分の実施経費（落札額のうち平成 21 年度及び平成 22 年度分として支払った金額の 1/2）は、従来の実施経費 12,519,000 円（平成 20 年度の委託経費、但し、JIP 基礎資料の収集・入力業務分については当該業務にかかる謝金支払額からの推計値）の約 87%に相当する 10,897,000 円であり、1 年あたり 1,622,000 円の経費節減（13%）となる。

## 3 評価のまとめ

- (1) 評価期間中に入力ミスが発生したが、適切な対応と再発防止策がとられており、その他の確保すべきサービスの質は達成されていることから適切に事業が実施されていると評価できる。

入札においては、それまで謝金により実施していた JIP 基礎資料の収集・入力業務を含め一般競争入札に変更したことなど競争性を高めたことにより 3 者の応札があり、十分な競争が確保されたことから経費の節減につながったものと考えられる。

- (2) 次期事業においても民間競争入札を実施し、契約期間を適切に拡大することにより、民間事業者の初期投資の回収と創意工夫の発揮を容易として参入意欲を高め、結果的に更なる経費節減が図られること及び RIETI 側の契約事務コストの軽減を図ることが必要である。

平成 23 年 5 月 25 日  
独立行政法人経済産業研究所

**【民間競争入札実施事業】**

経済産業研究所データベース業務の実施状況  
(平成 21 年 12 月～平成 23 年 3 月) について

**I 事業の概要**

1. 事業概要

データベース業務は、日本産業生産性データベース (Japan Industrial Productivity Database: JIP) 基礎資料収集・入力業務と RIETI Trade Industry Database (RIETI-TID) 作成等業務の 2 つを行うもの。

- ・ JIP 基礎資料収集・入力業務：JIP を作成するための基礎データを収集・入力するもの。
- ・ RIETI-TID：国連が作成している COMTRADE のデータを基に作成された二次加工統計を作成するもの。

2. 契約期間

平成 21 年 12 月 4 日から平成 24 年 2 月 28 日

3. 受託事業者

株式会社 価値総合研究所

4. 契約金額

29,460,000 円 (税抜き)

※ 業務委託期間 (平成 21 年 12 月 4 日から平成 24 年 2 月 28 日の 2 年 3 ヶ月間の総額)

Ⅱ 確保されるべき質の達成状況、業務の実施状況及び評価（平成 21 年度・平成 22 年度：平成 21 年 12 月～平成 23 年 3 月）

1. JIP 基礎資料及び RIETI-TID の基礎となる統計データを誤りなく入手すること。

(1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成21年度 (平成21年12月～平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～平成23年3月)
【JIP】 ・ JIP基礎資料の統計データを誤りなく入手する	・ 統計データ入手に過誤なし	・ 統計データ入手に過誤なし (最終納品は平成23年3月末)
【RIETI-TID】 ・ RIETI-TIDの作成に伴い基礎資料を誤りなく且つ、最新時点のデータを入力	・ 入手したデータには過誤はなかった	・ 入手したデータには過誤はなかった

(2) 評価

【JIP】

- ・ 統計データ入手については、過誤なく実施されていた。特に 2 年目におけるデータ配布方法、公表様式の変更について、実施要項通り、適切な事前確認が行われた。  
※2年目の第1回納品（8/20）に先立ち、経済産業研究所からデータ収集・入力に関する資料変更点についてのメモを事業者に送付。

【RIETI-TID】

- ・ データ入手に関しては、1 年目、2 年目ともにスムーズな対応がなされ、満足する結果を得た。

2. JIP 基礎資料を別添 2 の方法に従って適切に入力すること。

(1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成21年度 (平成21年12月～平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～平成23年3月)
【JIP】 ・ JIP基礎資料を適切に入力する	・ 第3回納品（平成22年3月1日）において、データの一部に入力過誤があった。 ・ これは労働編No. 12「賃金センサス」のデータ入力に際して、1980年のデータ入力部分に、誤って	・ 統計データ入力に過誤なし。 (最終納品は平成23年3月末)

	1987年データを入力してしまい、入力元データの間違いに気付かなかったものである（平成21年度の「賃金センサス」データ入力作業についてのみ、1970年～2000年の31年分の同一フォーマットによる入力作業がある）。	
--	---	--

## (2) 評価

## 【JIP】

- ・1年目にデータ入力に関する過誤が発見された。実施事業者がデータ入力を専門とする事業者ではないことによる弊害の可能性もある。
- ・2年目におけるデータ配布方法、公表様式の変更について、実施要項通り、適切な事前確認が行われた。

※2年目の第1回納品（8/20）に先立ち、経済産業研究所からデータ収集・入力に関する資料変更点についてのメモを事業者に送付。

### 3. RIETI-TID の基礎となる統計データを別添3の方法に従って加工及びデータベース化し、それを公開するとともに、データベースのサーバーを適切に管理すること。

## (1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成21年度 (平成21年12月～平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～平成23年3月)
【RIETI-TID】 ・RIETI-TIDの作成にあたり、国別、地域毎に過誤なくデータを加工	・加工されたデータに特段の過誤はなかった。	・加工されたデータに特段の過誤はなかった。
【RIETI-TID】 ・データベース及びそれをを用いた検索ツールの作成	・作成されたデータベース、検索ツールに過誤はなかった。	・作成されたデータベース、検索ツールに過誤はなかった。
【RIETI-TID】 ・RIETIのHPからデータベースを公開し、そのデータベースを過誤なく管理	・RIETI-TIDは委託業者が所有する機材に構築され一般公開を実施。そのデータも適正に管理・運用されている。	・RIETI-TIDは委託業者が所有する機材に構築され一般公開を実施。そのデータも適正に管理・運用されている。

## (2) 評価

## 【RIETI-TID】

- ・国の変更に伴う作業にも適切な対応が図られ満足する結果を得た。
- ・検索ツールは、国変更があったものの特段の問題なくツールを利用することが出来、満足する結果を得た。
- ・データベースの管理・運用は、トラブルの報告もなく適正に運用されている。

4. 納品後契約期間内に誤りが確認された場合、民間事業者は全てのデータを再検証した上で誤りを修正し、再度納品すること。

## (1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成21年度 (平成21年12月～平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～平成23年3月)
<b>【JIP】</b> ・納品後契約期間内に誤りが確認された場合、全データ再検証し修正後、再納品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入力ミス発見後、すぐに事業者 に連絡、全データの再検証、修正 後の再納品を依頼。</li> <li>・入力ミスの原因は、入力元デー タの単純な取り違いである。今後 は、複数人が目視により厳密に入 力元データを確認するほか、エク セルの計算機能を利用し、以下の 対策を行うことを徹底。</li> <li>① 複数年次の入力データがあ る場合には、年次間でも集計デー タを比較し、入力ミスがない かをチェックする。</li> <li>② 入力元の紙媒体記載のデー タの合計値、入力データの数値 の合計値をチェックする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終納品は、平成23年3月31日。</li> <li>・現時点では、入力ミスは生じて いない。</li> </ul>

## (2) 評価

## 【JIP】

- ・1年目のミス発見後の対応は適切に行われた。

5. 当研究所が定めたスケジュールを厳守すること。

(1) 実施状況

確保すべき対象公共サービスの質	平成21年度 (平成21年12月～平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～平成23年3月)
<b>【JIP】</b> ・当研究所が定めるスケジュールの厳守	スケジュール通り納品 ・第1回：平成21年12月21日 ・第2回：平成22年2月1日 ・第3回：平成22年3月1日 ・第4回：平成22年3月31日 (実績の測定時期) ・各納品日	スケジュール通り納品 ・第1回：平成22年8月20日 ・第2回：平成22年10月30日 ・第3回：平成23年1月7日 ・第4回：平成23年3月31日 (実績の測定時期) ・各納品日
<b>【RIETI-TID】</b> ・当研究所が定めるスケジュールの厳守	スケジュール通り納品 ・平成22年3月31日	スケジュールより早く納品された ・平成23年3月第2週

(2) 評価

**【JIP】**

- ・平成23年3月上旬現在、スケジュール通りの納品が行われており、評価できる。

**【RIETI-TID】**

- ・スケジュールより、概ね2～3週間早く納品が可能であり、ユーザへの公開もスケジュールとおりの順調に実施されたことから満足出来る結果であった。

**III 実施経費**

平成21年度・平成22年度（平成21年11月～平成23年3月）の経費と平成20年度及び19年度の比較は以下の通りである。

(1) 実施状況

(参考) 平成20年度	平成21年度 (平成21年12月～ 平成22年3月)	平成22年度 (平成22年4月～ 平成23年3月)	平成23年度(予定) (平成23年4月～ 平成24年2月)	契約期間合計 (平成21年12月～ 平成24年2月)
¥12,619,000	¥10,970,000	¥10,824,000	¥7,666,000	¥29,460,000



(2) 評価

各年度ともに、実施期間直前（平成 20 年度）に比べ、コスト削減に繋がっている

**IV 評価のまとめ**

**【JIP】**

- ・確保すべき対象公共サービスの質については、入力ミスが 1 年目に発生したものの、発見後、事業者が適切に対応したことや、当研究所が定めるスケジュールが厳守されたことは評価できる。

**【RIETI-TID】**

- ・確保すべき対象公共サービスの質については、対象国の変更に伴う検索ツールの変更への対応、当研究所が定めるスケジュールよりも早めの納品などの対応は評価できる。

(全体評価)

- ・ JIP、RIETI-TID の各業務自体では、確保すべき対象公共サービスの質を確保しており評価できる。また、実施経費については、各年度ともに、実施期間直前（平成 20 年度）に比べ、コスト削減に繋がっており、評価できる。

以上